

第九たいむず



No. 26 2009.12.3

チケットは売れていますか？
「溜めずに精算！」でよろしく！！

通刊868 担当 祐美子

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長中村)

◆筑井孝子先生 ご来場！

本日は、水彩画家の筑井孝子先生が、ご来場くださいます。当団の練習風景のスケッチを描いて、12月11日発行のタカタイ(上毛新聞折込)に掲載して下さる事になりました。本番の直前の掲載、効果抜群です！外処さんファミリーがお世話になっているというご縁で実現しました。プロフィール等、是非ご覧になってください。

筑井先生のホームページ http://www.melma.com/backnumber_167698/

◆高崎市民クリスマス 12月5日(土) ←今週の土曜日ですよ！

★「出演予定ではなかったけれど、急に出演できることになった」も、もちろん大歓迎です！ただし、衣装はみんなとそろえてくださいね！（当日のお出掛は、白黒スタイルで♪）

- ◆ 集合: 高崎市庁舎 ロビーに 15:00。会場で仲間を見つけて、固まってください。(笑)
- ◆ 曲目: クリスマスメドレー と ハレルヤ と 第九の「M」の部分。もちろん暗譜。
- ◆ 衣装: 男性も女性も共通です。
- ◆ 上半身は白い物(セーターでもワイシャツでもブラウスでも、何でも構いませんが、柄がついていないものにして下さい。) **ポイントチア** をつけて歌います。お忘れなく！
- ◆ 下半身は黒い物(ズボンでもスカートでもOKですが、男声のスカートは御遠慮ください(笑))
- ◆ 黒っぽい靴 (黒っぽければ、あまりうるさく言いません。服装に合うものにして下さい。)

◆群馬テレビ モーニングジャスト出演！！12月7日(月)

19日の演奏会の宣伝のため、渡辺団長と赤羽先生のお二人が群馬テレビに生出演されます。番組名は、GTVの「モーニングジャスト」。平日、午前6時55分～8時30分の時間帯で放送しています。内容は、合唱団の紹介、プログラムやスロヴェニア公演旅行について話されます。第九コンサートの宣伝・周知のため、是非この放送を他の方々にもPRをお願いします。視聴可能な方は、ビデオリモコン片手に必見です。出番は午前7時20分ごろで、正味9分間。絶対見てね～！！

◆生涯学習フェスティバル 12月13日(日) 13:00 高崎市文化会館

今年はソプラノの新井幸子さんが、社会教育功労賞で表彰されます。入場は無料ですので、是非「あらさっちゃん」の晴れ姿を見に行きましょう！

◆本番の日の流れ 12月19日(土) 初めて出演される方の為に。

来週、別紙で細かいタイムスケジュールや注意事項が配布されますが、だいたいの流れを。例年通りなら、みなさんは 14:00 に音楽センターの楽屋に集合→受付と、最後のチケット精算→発声練習と復習→ゲネプロと出入りの練習→夕食(パンと飲み物が配られます)→身支度→最後の練習→本番、という感じです。ステージは、「クリスマスmedley」「ハレルヤ」を歌って休憩が入り、そのあと「第九」です。当日、工藤先生や群響さんとの打ち合わせにより変更もあります。

※当日は必ず残ってしまったチケットと、チケットの精算封筒を提出して下さい。

◆当日、ご自分のチケットを受付に預けられる方へ

チケットは封筒に入れて、あて名と送り主の名前(団員)、そして、お金をいただく必要があれば「未代」、必要がなければ「代済み」と書いて、当日受付役員に渡してください。預かりチケットについては、お釣りのないようにお客様にご協力いただいでください。

※演奏会情報が掲載されました。群馬よみうりと月刊 raifu 12月号が先月末。広報高崎が12月1日。→

◆身障者用に、地上の駐車場の予約が出来ます。

車椅子や松葉杖のお客様など、地下の駐車場では大変な方に、地上の駐車場をご用意できます。お客様のお名前をテノールの宮島さんまでお知らせ下さい。ただし、台数に限りがあります。

◆★指揮者レッスン まとめ★ 次回指揮者レッスンは12月17日(木)です！！

◆クリスマスキャロルメドレー

①もろびとこぞりて

全体的にマルカートに、パワフルに歌う。曲の流れに乗り遅れないように。ただし、勢いにまかせて細かい音符(2ページ2段目最後の小節の16分音符など)が中途半端にならないように、一つずつ歌う。

②神の御子は今宵しも

①「もろびとこぞりて」とはガラリと雰囲気を変えて横のフレーズでレガートに。5ページ2段目3小節目の「おがまずや」は緩めずに、堂々ときざむ。

③ああベツレヘム

②「神の御子は今宵しも」と同じように歌う。最初の「ああ」は、あ、あ、二回言い直す、次の「ベツレヘム」につながるように歌う。

④荒野のはてに

①各パートの音の動きがわかるように。「Gloria」のソプラノ・テノールは、強さと勢いを保って8分音符を鳴らす。「in excelsis」の「ce」の発音は「シェ」にする。

⑤きよしこの夜

10ページ2段目、*mf* と *p* のエコーをはっきりと表現する。10ページ3段目は強めに始めて盛り上げる。1番より2番の方が、2番より3番の方が強く充実するように歌う。母音を立体的に。

◆ハレルヤ

「Hallelujah」の発音に注意。極端にすると「ハッレ ロウ イヤ」という感じの発音。

→①「Hal-le」はエル(L)が2つ重なっているので促音(ッ)が入る。②「lu」は深めに発音。③「jah」は必ず「ィ」を発音してから「ヤ」。

◆第九

- ・238小節 拍は「Freude」の「eu」で合わせる。「de」で音が下がらないように。
- ・263小節 元気よくきざむ
- ・291小節 きつくきざまない
- ・321小節～ スタッカートを早く切り過ぎない。音を切るという感じではなく、ギリギリまで音を伸ばして、その後で少し隙間を空ける感じで(595小節からの部分も同じ)。
- ・410小節～ 「zum Siegen」の「ge」は鼻濁音ではなく濁音「ゲ」で発音。
- ・543小節～ 音をブチブチと切らない。潤いのある声で。545小節の「Göt」に *sf* 追加。
- ・595小節～ 「Seid umschlungen」の「ge」は鼻濁音。
- ・631小節 <>をやりすぎない。・632小節 「nie-der」にテヌート。
- ・650小節～ *pp* で音が出なければ強めにし出しても良い。テノールは特に音が下がり気味。
- ・654小節～ 二重フーガの出だし、アルトは開放的に。ソプラノはリズム。各パートのテーマがよく表現されるように歌う。
- ・745小節 ここの「Brüder」から遅くする。
- ・758小節 アルトの音程変更。Cに#をつけない。
- ・918～919小節 「schöner」から「Götterfunken」の間で切らずにつなげる。極力プレス無し。

◆全体的な注意事項

- ・テンポに遅れない。正確にリズムをきざんで、縦の線を揃えて。
- ・プレスの直後で音の入りが遅れてしまうので注意。
- ・1つ1つの音をギリギリまでしっかり伸ばしてから次の音へ。
- ・子音をしっかりたてて発音する(特に h, k, m, n)。
- ・ドイツ語のウムラウト(ü, ö)が「u」すぎるので、もっと「i」に近い発音で。

→上毛新聞は明日。放送はNHK-FMが11月26日。ラジオ高崎が11月30日。群馬テレビは12月7日。